

「聖書の神は関係の神」

エレミヤ書31章31～34節

1

聖書の神は関係の神

- 仏教は釈迦の悟り(仏、ブッダ=悟りを得た者)
- 儒教は孔子の悟り
- プラトン哲学はソクラテスとプラトンの悟り
- キリスト教はキリストの悟りではない！キリスト教は(神との)関係。
- 聖書は旧約と新約、古い契約(関係)と新しい契約(関係) 神と私たち人間の関係のこと

2

見よ。その日が来る。—【主】の御告げ—その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、**新しい契約を結ぶ**。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。

—【主】の御告げ— 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこつた。—【主】の御告げ— わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

そのようにして、人々はもはや、『【主】を知れ』と言って、おのおの互いに教えない、それは、彼らが見な、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。—【主】の御告げ— わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。』エレミヤ31:31-34

3

旧約と新約

- 【主】はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、**わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなた(の子孫)によって祝福される。**」創世記12:1-3(22:18) アブラハムの時代は紀元前2000年ごろ。
- 「あなたの子孫」、それはキリストのことです。ガラテヤ3:16 パウロの時代は紀元50年ごろ

4

旧約と新約

- ヘブル8:8-12=エレミヤ31:31-34(の引用)
- しかしキリストは、**すでに成就した**すばらしい事からの大祭司として来られ、手で造った物でない、言い替れば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、**ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられた**のです。ヘブル9:11-12 (約束の成就)
- キリストは、**本物の模型にすぎない、手で造った聖所に入られたのではなく、天そのものに入られた**のです。そして、今、私たちのために神の御前に現れてくださるのです。ヘブル9:24

5

旧約と新約

- こういふわけですから、兄弟たち、**私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができる**のです。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。ヘブル10:19-20
- ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、**大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。**ヘブル4:16

6

バプテスマ

- それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。マタイ28:19-20 アブラハムへの約束の成就
- そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。」使徒2:38 新しい契約の約束の成就

7

主の晩餐

- 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」ルカ22:20
- 夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。1コリ11:25-26

8

新しい契約と新しい心

- まして、キリストが傷のないご自身を、とこしえの御霊によって神におさげになったその血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者とするでしょう。ヘブル9:14
- また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いつしよに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。もし私たちが、真理の知識を受けて後、ことさらに罪を犯し続けるならば、罪のためのいけにえは、もはや残されていません。ただ、さばきと、逆らう人々を焼き尽くす激しい火とを、恐れながら待つよりほかはないのです。ヘブル10:24-27

9

見よ。その日が来る。—【主】の御告げ—その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。

—【主】の御告げ—彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。—【主】の御告げ—わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

そのようにして、人々はもはや、『【主】を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らが見な、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。—【主】の御告げ—わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。』エレミヤ31:31-34

10

新しい関係と新しい心

- 新しい契約は「わたし」だらけ (11回)
- 「わたしだらけ」なのは神のわざだから
- 「私、ぼく、俺」だらけが問題！
- 信仰は自分の信仰に頼るのではなく神に頼る。
- 信仰は進行だけではない。「待て」、「静まれ」(やめよ)、休めもある。
- 信仰は神の愛と恵みの中でリラックスすること
- 新しい契約は、「神だらけ」の生活！神といっしょの生活！クリスチャン生活は神のわざ！

11

聖書の神は関係の神

- 神は関係ないという世に神との関係の素晴らしさを示すのが神の民(イスラエル)の使命
- 神との関係において「イエス様に似るものとして」成長し続けるのが私たちの使命
- 神に赦され愛されているとして、感謝と喜びをもって、愛と赦しに生きる、神と人に仕えるのが私たちの使命
- 永遠の神といっしょに生きるのが永遠のいのち

12